

幼児の「話す・聞く・伝え合う」育ちの見取り表

		初 期	中 期	後 期
話す	幼児の育ち	○ 相手との間に安心して言葉を交わせる雰囲気や信頼関係が成立する ○ 相手に分かってもらいたいという気持ちが芽生える	○ 経験したことや考えたことを自分なりに話そうとする ○ 相手によって分かりやすい話し方を変えていく	○ 経験したことや考えたことを自分なりに話す ○ 同じ話でも相手に応じて異なる話し方をする
	返事・挨拶	「はい」と返事をする		
		自分の名前を言う		
	経験	自分から挨拶や返事をする		
		「こんにちは」「ごちそうさま」を言う		
	具体的な姿	「入れて」「貸して」「ごめんなさい」の言葉が使える		
		簡単な用事を伝えられるようになる(伝言)		
	思い・考え	楽しかったこと、こわかったことを話す	楽しかったこと、こわかったことなど話題に沿って話す	楽しかったこと、印象に残ったことを発表する
		経験したことを話す	経験したことを言葉で人に話す	経験したことを、順序立てて発表する
	要求	皆の前で、経験したことや思ったことを話す	皆の前で、経験や行事を思い出しながら話す	場所や道順を説明する
要求	自分のしたいことや思ったことを話す	見たり聞いたりしたことを考えて話す	見たり聞いたりしたことを人に分かりやすく話す	
	喜びや楽しさを声や言葉に出す	喜びや楽しさを声や言葉に出す	喜びや楽しさを言葉で表現する	
思い・考え	願いごとを教師に話す	自分の描いたイメージを言葉に表す	絵本や童話を聞いて、感じたことを話す	
	絵本や童話を聞いて、感じたことを言葉に出そうとする	絵本や童話を聞いて、感じたことを言葉に出す	言葉遊び、文字遊びを楽しむ 紙芝居にしたものを、言葉で発表する 異年齢の友達に話しかける ごっこ遊びに必要な言葉を使う 理由を話す	
要求	要求を教師に伝える			
要求	分からないことを尋ねる			
聞く	幼児の育ち	○ 親しみを感じている教師や友達の言葉に興味や関心をもって聞く	○ 自分の話を聞いてもらうことにより、自分も人の話を聞こうとする	○ 相手が伝えようとしている内容に注意を向けて聞く
	具体的な姿	絵本・話	お話を聞く	
		教師の話	紙芝居の話のストーリーに沿って聞く	
	具体的な姿	教師の話	絵本や素話の筋を理解して聞く	絵本、紙芝居、テレビ、お話のおもしろさや楽しさが分かり、聞く
友達の話を聞く		教師の指示を聞く	注意事項を正しく聞き取る	教師が何を主にして話したか、何が大事なことが分かり、聞く
伝える	幼児の育ち	○ 相手の話や思いが分かる楽しさや喜びを感じる	○ 周囲の人々の会話の仕方やし話し方を聞き、自分も相手に話そうとする	○ 相手の話を聞き、自分も相手に話そうとし、相互に伝え合う喜びを味わう
	具体的な姿	ふれあうことが楽しくなり、言葉が出る	友達と気持ちや思いを伝え合う	同じ経験をしていない友達に対しても会話が続く
具体的な姿	言葉によるやり取り	自分の思いを出しつつも、相手の意図にも気付く	お互いに思ったことを言って、考え合う	決まりや約束を話し合う
	共有物を介して相手の発話に応じた返答を行う	幼児同士で会話が成立する(言葉を用いてお互いの思いを伝え合う)		
具体的な姿	共有物を介して相手の発話に応じた返答を行う	数日前に互いが共通して体験した日常性の高い出来事について、伝え合う		自分が今まで経験したことを土台にして想像力を膨らませ、相手が話している内容と同じイメージを共有する
				見た絵本、テレビ、紙芝居を題材にして話し合い、考え合う